

芙蓉リースグループ
CSR報告書2012
ハイライト版

前例のない場所へ。

私たちは考える。

リースとはモノを貸すことではない。発想を、頭脳を、驚きを貸すことだ。

私たちは考える。

無理難題こそ歓迎したい。新たなビジネスは、そこからしか生まれない。

私たちは考える。

期待に応えるのは義務である。期待を超えてこそ仕事である。

私たちは考える。

ともに成功するのはたやすい。苦しい時も向き合えるのがパートナーである。

私たちは行動する。

この国のビジネスを、もっと自由にするために、

私たちから大胆になる。

リースにできることを広げていく。

私たちは芙蓉リースです。

FUYO LEASE

CONTENTS

| | | | |
|---------------------------|----|-------------------|----|
| 会社概要 | 2 | CSR活動のさらなる進化をめざして | 12 |
| トップメッセージ | 3 | 地域社会への貢献 | 13 |
| リース事業を通じた社会への貢献 | | 働きやすい職場環境づくり | 14 |
| 東日本大震災被災地の復旧・復興支援 | 5 | 編集方針 | 15 |
| PC Eco & Valueリース、PCLレンタル | 7 | | |
| 中古資産買取サービス | 9 | | |
| LED照明リース、ESCOサービス | 11 | | |

会社概要

企業データ(2012年3月31日現在)

商号 芙蓉総合リース株式会社
(Fuyo General Lease Co., Ltd.)

設立 1969年5月1日

資本金 10,532百万円

上場市場 東京証券取引所 市場第一部
(コード:8424)

従業員数 連結1,504名、単体611名

本社所在地 東京都千代田区三崎町3丁目3番23号
(ニチレイビル)
TEL:03(5275)8800(代)

事業内容 ●情報関連機器、事務用機器、産業機械、工作機械、商業用店舗設備、医療機器、船舶/航空機/車両ならびに輸送用機器、建築土木機械などのリースおよび割賦販売業務
●金銭の貸付、その他各種金融業務
●不動産リース
●生命保険の募集業務
●各種コンサルティング業務

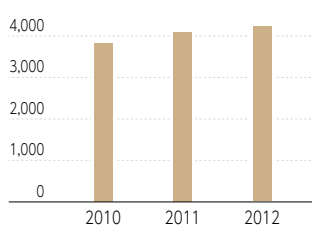
営業拠点 ●本社営業部および支店:21カ所
●海外現地法人:4社5拠点

主な国内連結子会社 ●芙蓉オートリース株式会社
●日本抵当証券株式会社*
●株式会社エフ・ジー・エル・サービス
●株式会社芙蓉リース販売
●株式会社アクア・アート
●株式会社エフ・ネット
●株式会社ワイ・エフ・リーシング
●シャープファイナンス株式会社

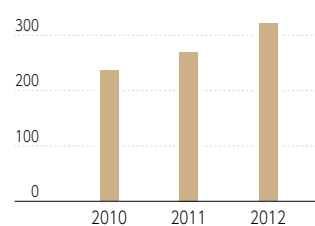
*日本抵当証券株式会社は、2012年4月1日付で芙蓉総合リース株式会社と合併しています。

業績などの推移(連結) ※3月決算

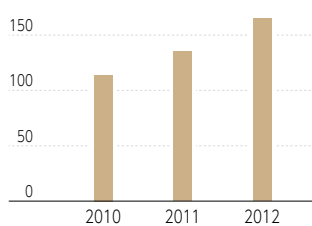
売上高 (単位:億円)



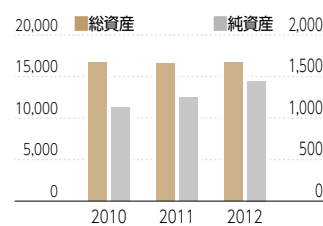
経常利益 (単位:億円)



当期純利益 (単位:億円)



総資産/純資産 (単位:億円)



(単位:百万円)

| | 2010年3月期 | 2011年3月期 | 2012年3月期 |
|--------|-----------|-----------|-----------|
| 売上高 | 382,042 | 408,510 | 421,491 |
| 営業利益 | 21,742 | 25,119 | 28,654 |
| 経常利益 | 23,636 | 27,127 | 32,092 |
| 当期純利益 | 11,432 | 13,466 | 16,489 |
| 総資産 | 1,670,931 | 1,653,967 | 1,668,631 |
| 純資産 | 113,089 | 125,239 | 144,773 |
| 自己資本比率 | 6.0% | 6.7% | 7.7% |

●表紙について

大型旅客機と熱帯魚。

芙蓉リースグループが実際にリースしている「大きなもの」と「小さなもの」を鮮やかな色彩の水彩画で描いたものです。

「リース」という言葉だけではどんなものがあるのかわかりにくいのですが、当社グループがリースしているものはこのように多岐に渡っており、皆様の身近にもたくさんあります。



世界最大の旅客機
「エアバス A380」



インテリア水槽
「AQUA ART」のグッピー

「前例のない場所」をめざして



取締役社長 佐藤 隆

経営理念

- リース事業を通じて企業活動をサポートし、社会の発展に貢献する。
- 顧客第一主義に徹し、最高のサービスを提供する。
- 創造と革新を追求し、株主・市場から評価される企業を目指す。
- 自ら考え積極的に行動する社員を育て、働き甲斐のある職場を創る。

本業のリース事業を通じた社会への貢献

2011年のわが国は、数々の試練に見舞われました。なかでも東日本大震災がもたらした未曾有の被害は、日本の社会・経済・環境に多大な影響を及ぼすとともに、従来の価値観の変容を迫るものでした。その一方で、私たち国民は大震災を契機に、困難に前向きに立ち向かう勇気の大切さ、そして互いに協力し助け合うことの大切さを学んだのではないかと思います。

それは芙蓉リースグループにおいても同様です。当社グループは経営理念の第一に「リース事業を通じて企業活動をサポートし、社会の発展に貢献する」ことを掲げています。この「本業を通じた社会への貢献」は、当社グループにおけるCSR活動の根幹でもあります。震災復興への取り組みを通じて、私たちはこのことを改めて確認することができました。

大震災の発生直後から、当社グループは被災地への義援金提供や、救援活動を担うNPO・NGOへの支援金提供、リースが終了したパソコンや車両の提供といった緊急支援活動に取り組むとともに、本業のリース事業を通じた復旧・復興支援を積極的に進めてきました。本報告書で紹介する事例のほかにも、例えば、瓦礫撤去・インフラ整備のための建設機械や高所作業車など、当社グループの数多くのリース物件が現在も被災地で活用されています。

また、今の日本における最大の課題とも言える電力問

題に関しても、昨年3月以降、LED照明をはじめとする各種省エネ設備や非常用自家発電装置などのリースを通じて、お客様の課題解決に貢献してきました。最近では、太陽光発電などの再生可能エネルギー供給装置へのニーズも高まっており、お客様視点に立ったコンサルティング型営業を強化し、培ったノウハウの結集によって業界・業種・企業ごとの要望に応じた「カスタムメイドの課題解決プラン」でお客様のニーズにしっかり対応していきます。

3R活動の強化で 循環型社会をめざす

リース事業による社会貢献とともに、当社グループでは「3R(リデュース・リユース・リサイクル)の推進による循環型社会構築への貢献」を、CSRのもう一つの柱と位置づけています。

2011年9月には、従来から進めてきたパソコンのリユース体制をさらに強化すべく、グループ会社のエフ・ネットが「深川テクニカルセンター」を新設し、キャパシティを大幅に拡充しました。これまで被災地支援に提供してきた1,000台を超える中古パソコンの多くも、同社でのリフレッシュ作業を経て送り出されたものです。また、芙蓉リース販売においても、リース終了物件処理のノウハウをベースに、お客様の不要設備・遊休資産を有効かつ適正に解決する「リマーケティング事業」を開始しており、多くのお客様からご好評を得ています。

より社会に貢献できる 企業グループへ

社会の発展に貢献する企業グループであることを、より多くの方々に知っていただくために、私たちは今年初め、新ブランド戦略を策定しました。策定にあたっては、私自身の思いや企業としてめざすべき方向性を全社的に共有していくために、本社や全国の支店を回り社員一人ひとりと語らう「社長キャラバン」を実施しました。実際の活動の担い手となるのは、グループを構成する社員個人だからです。

新しいコーポレートスローガンは「前例のない場所へ」。

未知なる世界をめざし漕ぎ出す荒海には、さまざまな試練や困難が待ち受けているでしょう。しかしそれはまた、血沸き肉躍るような体験に違いない、と私は考えています。何事も恐れない勇気、絶対に迷わない覚悟、そして決してあきらめない信念をもって、当社グループは、ステークホルダーの皆様の期待を超える「前例のない場所」をめざしていきます。



震災復興支援 リース業にできること。

東日本大震災の被災地では、今も復旧・復興に向けた不断の努力が続けられています。芙蓉リースは、リースをはじめとする各種ファイナンス機能を駆使して震災被災地の復旧・復興を支援しています。

「スパリゾートハワイアンズ」の復旧・復興を支援

常磐興産株式会社が福島県いわき市で運営する「スパリゾートハワイアンズ」は、東日本大震災の影響で長期間の休業を余儀なくされていましたが、2012年2月8日に“きづなリゾート”としてグランドオープンしました。

芙蓉リースは、フラガールのメイン舞台である「ビーチシアター」や、プール施設「ウォーターパーク」、新ホテル「モノリス・タワー」などに関連するさまざまな機器・設備をリースすることで、この復旧・復興を支援しています。



歓声があがる「ウォーターパーク」のメインプール



出動要請に備えて待機するドクターヘリ

ドクターヘリのリースで被災地支援と地域医療に貢献

ヘリコプター、ビジネスジェットを軸に、国内外で総合航空サービスを幅広く展開する朝日航洋株式会社。同社は航空医療搬送システムの構築に黎明期より携わり、「空飛ぶ救命センター」とも呼ばれるドクターヘリの運航において実績と安全性で高い信頼と評価を得ています。写真は、芙蓉リースが同社にリースしているドクターヘリの一機で、東日本大震災の一週間前にリース開始した機体。震災発生直後は宮城県に緊急出動し、被災した傷病者の救護活動に奔走しました。

現在は、配備先の基地病院で地域の医療機関と密接に連携を図りながら、一分一秒を争う救急救命の現場で活躍しています。

原発作業員の通勤負担を軽減する、滞在型ホテル事業に参画

芙蓉リースは、復興支援事業に建物リースで参画します。

現在、福島第一原子力発電所の周辺では宿泊施設が慢性的に不足しており、作業員の多くが、原発から40km以上離れた県内のいわき市や、100km以上離れた茨城県日立市などから通勤しています。

この課題解決に寄与すべく、芙蓉リースなど3社は、原発作業員向けホテル事業を進めることにしました。

今回、建設するのは中長期滞在型の「バリュー・ザ・ホテル広野」で、原発から20.4kmに立地。開業は2013年2月の予定です。

建設は大和ハウス工業株式会社、運営は価値開発株式会社の関連会社が行い、芙蓉リースはファイナンス面を担当し、建物をリースします。



「バリュー・ザ・ホテル広野」完成予想図

azbil



環境配慮と経済性の両立をめざす お客様をサポートするために。

——パソコンのリユース(再利用)を促進する
「PC Eco & Valueリース」「PCレンタル」

お客様の声

PCレンタルについて

●アズビル株式会社 業務システム部様

当社は、2012年4月1日付で社名を株式会社山武からアズビル株式会社へ変更しました。

azbil(アズビル)は、automation・zone・builderの意味で、グループ理念である「人を中心としたオートメーションで、人々の安心、快適、達成感を実現するとともに、地球環境に貢献します」という思いを込めたグループの象徴です。

芙蓉リースのPCレンタルは、環境にやさしく、情報セキュリティの面も安心で、当社の企業理念にぴったりの商品です。レンタル料金がリーズナブルな点も、たいへん助かっています。これからも芙蓉リースの商品・サービスに大いに期待しています。

返還された中古パソコンを再商品化して新たな利用者へ

「PC Eco & Valueリース」と「PCレンタル」は、パソコンのリユース(再利用)を促進するサービスです。

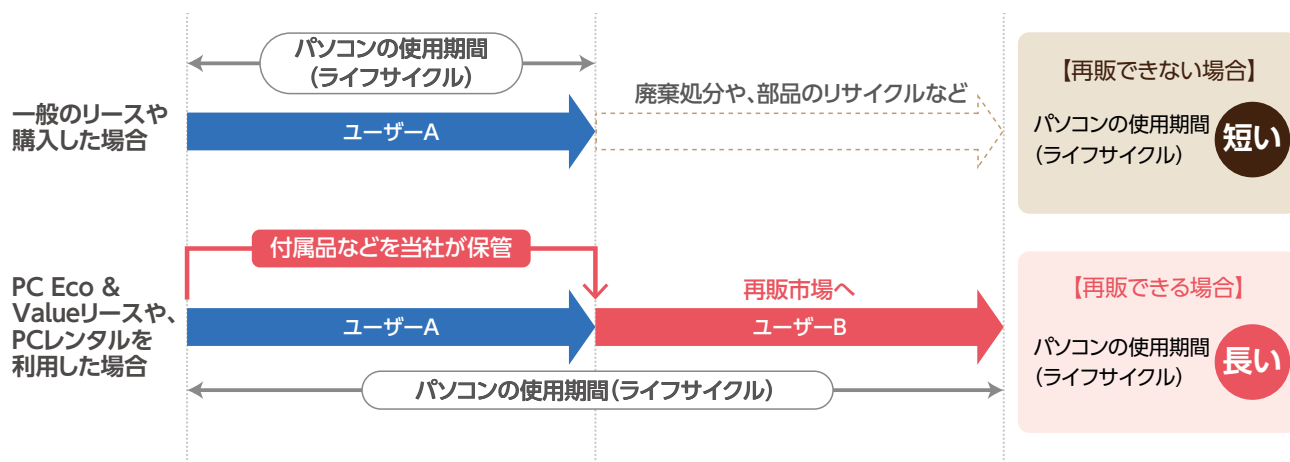
多くのお客様が、業務効率の観点などから比較的短いサイクルで最新モデルのパソコンに更新をされます。しかしこうしたパソコンは、パソコン自体の機能は十分高いまま維持されているものが多く、再利用することができます。

芙蓉リースでは、一般のリースなどでは散逸してしまうパソコンの付属品を保管しておき、リース・レンタル

が満了して返還された中古パソコンに「データ消去」などの適切な処置を施して、再商品化(まだ使用できるものを、使いたい方の手にお渡し)する体制を整えています。

「PC Eco & Valueリース」・「PCレンタル」は、ご契約期間満了時の中古価値を見込んでリース料・レンタル料を設定しますので、お客様に一般のリースよりも安い料金でご提供することができます。

● 「PC Eco & Valueリース」と「PCレンタル」のイメージ



パソコンのリユース拠点

エフ・ネット「深川テクニカルセンター」



「PC Eco & Valueリース」・「PCレンタル」のリユースを支えているのが、グループ会社のエフ・ネットです。同社の「深川テクニカルセンター」では、毎月3,000台を超える中古パソコンを受け入れ、再商品化を行っています。



データ消去、動作チェック



保管していた付属品などをセット



再販市場へ





環境経営に取り組むお客様とともに。

——「3R」に貢献する「中古資産買取サービス」

お客様の声

廃棄からリユースの採用へ

● 学校法人 自治医科大学附属病院 医療情報部 電算専門員 渡邊 輝幸 様

当病院は、栃木県南部の地域医療の中核を担う医療機関として38年の歴史ある病院です。病床数は1,132床、診療科は40を標榜し、職員数は医師723名を含む総数2,474名が勤務する特定機能病院です。

当院の病院情報システムは稼働から8年を迎え、平成22年度から2カ年計画でシステム機器の更新を行いました。その際大量に発生する機器は溶解による廃棄を考えていました。これは個人情報の漏洩を懸念したためです。

しかしながら近年のECOに対する関心の高まりや、環境保全に対する観点から、機器のリユースや廃材のリサイクルに対応できる芙蓉リース販売に処分を委託することにしました。

最大の懸案事項である個人情報を含むデータ消去については、事前に同社から専用ソフトの内容と消去作業を行う作業所・処理工程について十分な説明がなされ、作業完了の際には「作業完了報告書」が発行されました。安心できる対応であったと思います。

これまでは捨てるためだけに多大な費用をかけていましたが、今回のリユース、リサイクルの取り組みにより売却処分が実現し、経費の節約につながっただけでなく、病院から出る廃棄物の削減にも貢献ができました。

電子化カルテの普及とともに病院でも情報機器の処分は重要な課題になっています。病院で扱う情報は大変デリケートな個人情報です。情報漏洩防止に対する適切な処理を行いつつ、可能な限りリユース、リサイクルに取り組み、環境に配慮していく必要があります。芙蓉リース販売には、また新たな環境対策ソリューションを期待しています。



ご不要な機器・設備を買い取ってリユース、リサイクル市場へ

IT機器、OA機器をはじめオフィス家具や厨房機器、音響設備、検査機器、測定機器、工作機械、などなど。

入れ替えや更新時はもとより、移転・改装・閉店などで生じる不要資産を「廃棄してしまう」だけでは、大量の廃棄物と廃棄費用が発生します。

中古でも、使えるものはリユース市場を通して再び

使っていただく。そんな橋渡しをするのが、芙蓉リース販売の中古資産買取サービスです。

お売りになるお客様にとっては、廃棄物の削減など3Rに貢献できるだけでなく、廃棄費用の圧縮と売却代金の受け取りで、トータルして大きなコスト削減につながります。

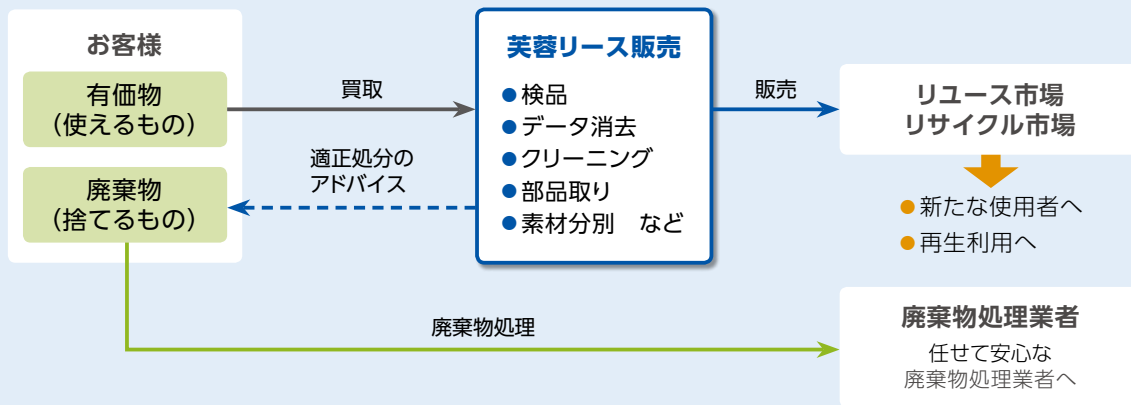
芙蓉リース販売のリマーケティング事業

芙蓉リース販売は、主に芙蓉リースのリース満了処理を担当するグループ会社です。

40年にわたって蓄積した「リース物件処分のノウハウ」を活かし、環境に配慮した最適なソリューションをお客様に提供しています。

この環境ソリューションを事業としてさらに推進するため、2012年4月から新たに「リマーケティング営業部」を設置して、専門的に取り組みを行っています。

● リマーケティング事業の仕組み



パートナー企業 オフィスバスターズ

芙蓉リース販売が、リマーケティング事業を進めるにあたり、欠かせない存在が多くのパートナー企業です。

なかでも国内21、海外12の小売店舗で中古品を販売する株式会社オフィスバスターズは、オフィスの「もったいない」を徹底的にサポートする心強いパートナーです。



オフィスバスターズ飯田橋店

お客様の省エネルギー活動に 貢献するために。

——「LED照明リース」



首都圏をはじめ、東北、関東、中部、近畿など19都府県に180余店舗のホームセンター「ケーヨーデイツー」を経営する株式会社ケーヨーは、創業60周年を迎えました。

一店舗一店舗が地域の皆様から愛される地域一番店になることをめざし、節電への取り組みにも力を入れています。

店舗では照明設備を順次LED照明に変更しており、芙蓉リースはこの節電への取り組みをリースで応援しています。

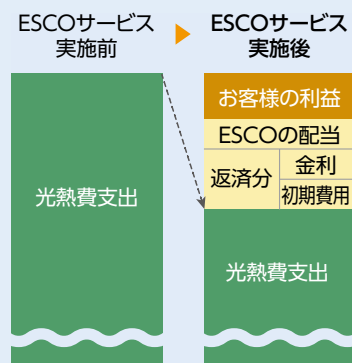
優れた環境性能と利便性で、急速に普及が進むLED照明。初期投資の負担を軽減できるリースによる導入は、多店舗展開する商業施設に限らず、オフィスや工場、倉庫や屋外灯など、さまざまな分野に広がっています。

「ESCOサービス」でお客様の省エネへの取り組みを支援

芙蓉リースは、お客様に新たな費用を負担していただくことなく、お客様の省エネへの取り組みを支援する「ESCO(Energy Service Company)サービス」を提供しています。ESCOサービスとは、省エネに関する提案や設備導入、資金調達など包括的なサービスを提供するもので、お客様はサービスを利用することで削減されたコストからESCO事業者へ費用を支払うため、追加費用を負担せずに省エネを実現でき、将来的な経費を削減することもできます。

当社では、2006年に「エネルギー・環境営業室」を設置して以来、ESCOサービスの取り扱い実績を伸ばし、多くの自治体や民間企業のお客様に幅広くご採用いただいています。

●ESCOサービスの仕組み



CSR活動のさらなる進化をめざして

担当役員メッセージ



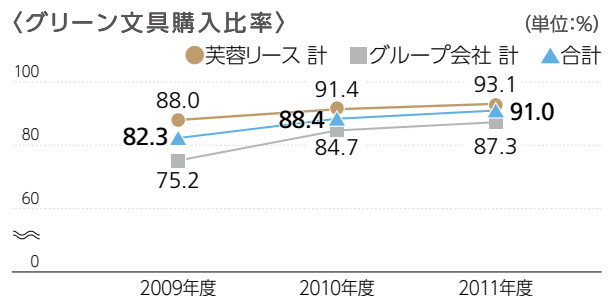
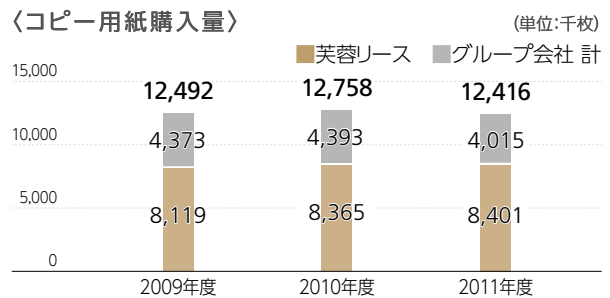
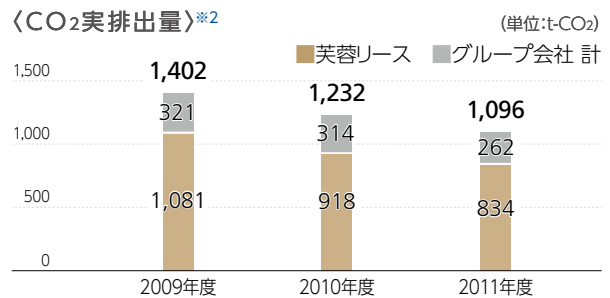
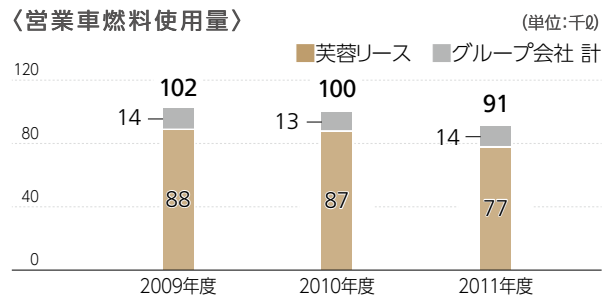
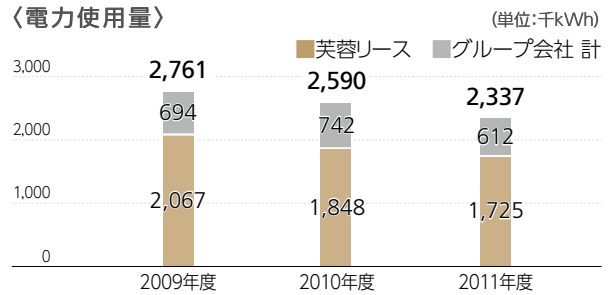
常務執行役員 藤田 義治

環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001は、認証を与えた組織に対して活動の「継続的改善」、つまり掲げた環境目標の達成や問題点の改善に止まることなく、常に「他にもっと良い方法はないか」を検討し、具体的なアクションを起こすよう要求しています。

しかし私たちは、こうした継続的改善が必要なものは環境マネジメントだけではないと考えています。コンプライアンスやリスク管理といったCSRの基礎的部分から、寄付やボランティアのような地域社会への貢献活動、さらには事業活動を通じた社会的課題の解決に至るまで、すべてのCSR活動において継続的な改善に取り組んでいます。

ステークホルダーの皆様のご意見・ご要望や社会・経済の変化を踏まえ、芙蓉リースグループならではの要素を付加したCSR活動を実践し、その成果を公開・発信する。そして、それによって得られる評価に基づき、「もっと良いもの」に進化させていく——こうしたサイクルを回し続けることで、広く社会のご期待にお応えし続けていきたいと考えています。

● 環境負荷低減の実績※1



※1 対象範囲は、芙蓉総合リース、芙蓉オートリース、日本抵当証券、エフ・ジー・エル・サービス、芙蓉リース販売、アクア・アート、エフ・ネット、ワイ・エフ・リーシングの国内全事業所。

※2 CO₂実排出量は、「特定排出者の事業活動に伴う温室効果ガスの排出量の算定に関する省令」の排出係数を用いて算定しています。(電気については各年度の電気事業者別の実排出係数を用いて算定しています。)ただし、芙蓉リース、およびグループ各社は、特定排出者には該当しません。

地域社会への貢献

母子生活支援施設にインテリア水槽を寄贈

芙蓉リースでは、グループ会社のアクア・アートを通じ、インテリア水槽「AQUA ART」を都内2カ所の母子生活支援施設に寄贈(無償レンタル)しました。

「AQUA ART」は、100匹以上の熱帯魚やエビ、貝、水草などを使い、自然界の仕組みをそのまま水槽の中に再現させた自社商品です。水槽内の食物連鎖は「バランスド・アクアリウム」と呼ばれ、このバランスを維持するためにアクア・アートの社員が万全のメンテナンスを行います。

アクア・アートでは、すでに都内の幼稚園・保育園に11台の「AQUA ART」を寄贈しており、環境教育用教材としてたいへん喜ばれています。

今後は、この寄贈対象に母子生活支援施設を加え、施設の皆様の「心の癒し」に少しでも役立つよう努めていきます。



子供たちに囲まれて、お魚の説明をするアクア・アートの社員



子供たちから、手作りの感謝状をもらいました

地域の皆様を「福岡Yahoo! JAPANドーム」にご招待



メセナシートで試合を楽しむ皆様

芙蓉リースでは、「福岡Yahoo! JAPANドーム」のメセナシートを購入し、地域の福祉施設の皆様やスポーツ青少年をご招待する試みを始めました。

今回購入したメセナシートは、一塁内野側の年間指定20席で、2012年に行われる福岡ソフトバンクホークスの公式試合を全日程観覧できます。

すでにお越しいただいた方々には、たいへんご好評をいただいております。今後も地域の皆様といっそうの親交を図るために、この観覧席を役立てていく考えです。

次代を担う学生に職業体験の機会を提供

芙蓉リースでは、将来、社会を担っていく若者たちに働く意義を伝えることを目的に、大学生・大学院生を対象に仕事の一部を体験できるインターンシップを開催しています。2011年は8月22日～24日の3日間に17名が、2012年は8月20日～23日の4日間に17名が参加しました。リースビジネスを身近に感じてもらうため、リースの基本などを講義形式で学んだ後、社員への取材やお客様への同行訪問などを実施しました。参加した学生たちからは、「働くことへの理解が深まった」「仕事への期待感が生まれた」「社会人になる心構え、必要なスキルやマナーが学べた」といった感想が寄せられました。



グループワーク



プレゼンテーション



同行訪問

働きやすい職場環境づくり

ワークライフバランスの実現を支援

芙蓉リースでは、2005年に次世代育成支援対策推進法が施行されて以来、同法に基づき「一般事業主行動計画」を2年ごとに策定し、次世代育成支援のための雇用環境の整備に取り組んできました。その結果、仕事と家庭の両立支援に積極的に取り組んでいる企業として、東京労働局長から2007年、2009年に続き、2011年も「基準適合一般事業主」の認定を受けました。これまで延べ約80名が育児休業を取得し、その大半が育児休業から復職しています。2011年度末現在、子育てをしながら活躍しているワーキングマザーが女性社員の2割を占めています。



●次世代認定マーク(愛称「くるみん」)
次世代育成支援対策推進法に基づく自主的な行動計画を達成するなど、認定基準を満たした企業に対して厚生労働大臣から付与されるマークで、愛称は「くるみん」です。



育児に奮闘中のワーキングマザーと育メン社員

COLUMN

社員との認識共有に向けて——社長キャラバン

芙蓉リースグループは、新ブランド戦略の策定に合わせて、グループ社員との対話を図る「社長キャラバン」を実施しました。2012年1月～9月にかけて芙蓉リースの社長が本社や全国の支店を延べ24回訪問し、800名以上の社員が参加しました。

各キャラバンでは、社長がコーポレートスローガンに込めた思いや自身の考えなどを説明したあと、芙蓉リースグループのあるべき姿や今後の方向性をテーマに参加者全員で熱く語り合いました。



編集方針

Webサイトとの情報の切り分けを図り、より読みやすくコンパクトな冊子にしました。

読者の皆様からのご意見を参考に、冊子は進捗のあった取り組みや注力している取り組みをコンパクトにまとめました。

詳細な情報はWebサイトに掲載しています。グループ各社の取り組みもWebサイトで報告していますので、ぜひご覧ください。

報告対象組織

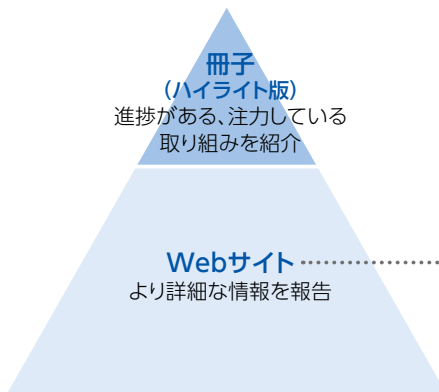
芙蓉総合リースおよび連結子会社31社および関連会社3社

報告対象期間

2011年度(2011年4月1日～2012年3月31日)
※一部、対象期間外の報告を含んでいます。

発行時期

2012年10月(前回発行2011年11月)



<http://www.fgl.co.jp/csr/>

FUYO LEASE

芙蓉総合リース株式会社

〒101-8380
東京都千代田区三崎町3丁目3番23号(ニチレイビル)
TEL:03(5275)8800(代)
<http://www.fgl.co.jp/>

「CSR報告書2012」お問い合わせ先
コーポレートコミュニケーション室
TEL:03(5275)8891 FAX:03(5275)8950



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



FSC認証用紙の使用
「適切に管理された森林からの木材(認証材)」を原料として、FSC(Forest Stewardship Council, 森林管理協議会)の基準に基づいた紙を使用しています。



環境負荷のより少ない植物由来のベジタブルインキを使用しています。